

松前ひろ子さん くにさき観光親善大使に就任

演歌歌手の松前ひろ子さんが、国東市観光協会(中田博之会長)から観光親善大使に任命され、10月3日(金)、大分空港到着ロビーで委嘱式が行われました。

松前さんは、今年の1月「国東半島」「豊後巡礼」を発売以来、国東市をはじめ、国東半島や大分県を広く全国に広めています。なお「国東半島」は、10月25日から全国公開された大分県が舞台の「釣りバカ日誌19ようこそ!鈴木建設御一行様」で、主人公・浜ちゃん役の西田敏行さんが、宴会シーンで熱唱しています。

委嘱式では、東京から駆けつけた後援会会員約50人をはじめ地元ファンや観光協会関係者ら約100人が見守る中、同協会の徳部伝造副会長から、観光親善大使のたすきと名刺が手渡され、野田侃生市長が花束を贈りました。

この後、ミニ歌謡ショーが行われ、「国東半島」が大ヒットとなり、地元の皆さんに少しでも貢献できればと思います」とあいさつし、「国東半島」のほか3曲を披露しました。



▲県特産品のカボスを手に野田市長や観光協会役員と記念撮影する松前ひろ子さん

菜の花いっぱい運動へのご協力ありがとうございました



▲10月14日(火)に市役所前の田深川河川敷で、市役所職員が草刈り作業を行い菜の花の種を蒔きました

市では本年度、「しあわせ実感くにさき菜の花いっぱい運動」に取り組みました。市内の道路や河川周辺を市花の「菜の花」でいっぱいにして、国東市を訪れる観光客にアピールするとともに、植え付け作業などのボランティア活動を通して地域活動を促進する目的もあります。

取組みに参加したのは、市内の行政区をはじめ地域おこしグループや小・中学校など38団体、約1,800人。その内、区民約90人と共に参加した安岐町下山口区の河野勝土区長は「年に3回区民総出で荒木川河川敷の草刈をしています。春にコスモスの苗を植栽し秋にはコスモス祭りを催しています。今度は秋に菜の花の種子を蒔き、春もきれいな花が咲けば区民の気持ちもより明るくなると思います」と話してくれました。

市内一円が菜の花でいっぱいになる春が今から楽しみです。

水際で被害防止 振り込め詐欺被害ストッパー委嘱式

全国的に被害が急増している振り込め詐欺の被害を未然に防ごうと、国東警察署と市内の金融機関等が連携して「振り込め詐欺被害ストッパー」を配置しました。

10月15日(水)、午前11時から国東警察署で行われた委嘱式では、足立正人署長が「被害者を一人もたさないよう、被害防止の最後の砦として皆様のご協力をお願いします。」とあいさつ、大分銀行国東支店の荒木敏博支店長が「振り込め詐欺防止のため、窓口での声かけや警察と連携して被害防止に努めたい」とあいさつしました。

この後、市内の全ての金融機関やATM(現金自動預払機)を設置するコンビニエンスストアが配置した41人を「振り込め詐欺被害ストッパー」に委嘱しました。また、南部保育園ひまわり組の園児23人が「孫からのお願い」として、「おじいちゃんおばあちゃんを守ってください」とメッセージを送りました。

ストッパーは、国東署から定期的に情報提供を受け、ATM利用者に対する積極的な声掛けや、警察への迅速な通報等被害防止に取り組むことにしています。



▲代表者3人に足立正人署長から委嘱状が手渡されました